

令和7年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：外国語（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）

I

- 問1 (i) g (ii) c (iii) b (iv) e (v) d
- 問2 (解答例) 多くの人を若死にすることから救った。
- 問3 (解答例) 賃金が上がらず生活水準も改善されず、しかも衛生状態の悪い都市部に人が集まったことと、死亡率が低下したこと。
- 問4 (解答例) 茶条例が発効して紅茶の税金が大幅に減額され、紅茶の消費が急増したこと。
- 問5 (解答例) (A) bad (worse/poor) water (B) good (cleaner) water
- 問6 (解答例) 紅茶を飲むために水を沸かすという習慣が、トイレや下水道整備をしたり飲料水と排水を分けたりするといった直接的な介入よりも、寿命を延ばすのに役立ったということ。

II

- 問1 (解答例) 言語は話し言葉を聞くことでしか習得できない(別解：耳の聞こえない人は、すべての場合において口もきけない；生まれつき耳が聞こえない人は、読み書きを学ぶことができないのだから何も理解していない)
- 問2 (解答例) 自分の修道院で使われていたジェスチャーを用いて(参考にして)、聴覚障害者にコミュニケーションをする教授方法(聴覚障害者のための正式な手話)を作った。
- 問3 (解答例) 聴覚障害者が右手でそれぞれの文字を表す形を作り、音声とアルファベット文字を組み合わせた方法。その問題点は、特に抽象的な言葉や、接続詞などの漠然とした言葉を身につけるのが難しかったこと。
- 問4 (解答例) 聴覚障害者が話せるようになるために、声が反響する樽の中に入れられても、そのようなことができるようには決してならなかったということ。
- 問5 (解答例) 両国とも、聴覚障害の子どもたちのための学校が作られ、彼らが家でコミュニケーションのために使っていた手話が学校に持ち込まれた。

III

Q1 (i) b (ii) b (iii) d (iv) d (v) a

Q2 (A) made (B) ended (C) dig (D) came (E) taking

Q3 (出題の意図)

本問では、文章の要旨を理解する力と、文章で使用されている表現をパラフレーズする力を問う。

IV (出題の意図)

本問は、(1) 1950 年から 2050 年にかけての日本の人口推移のグラフから問題点を考えその解決方法について論じるという「課題認識・課題解決」の基礎力と、(2) 自分の考えについて、200 語程度の英語で論じることで基本的な英語表現力が身についているかを問う。